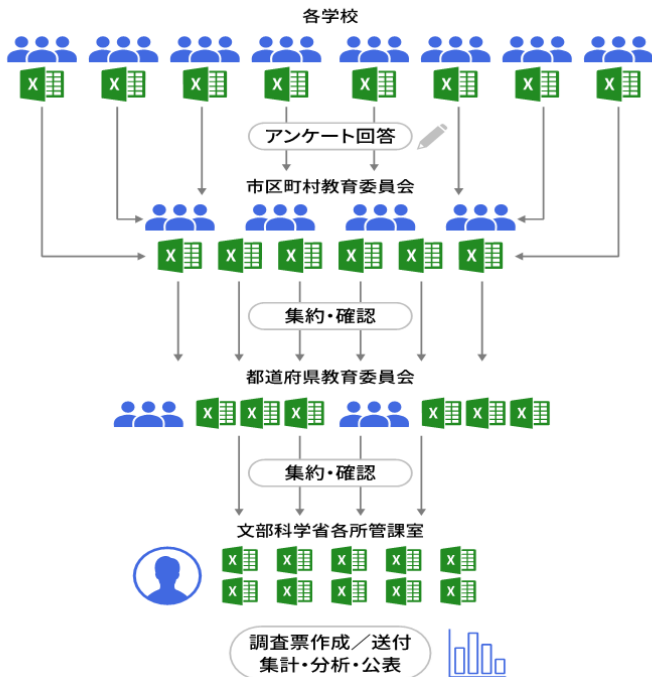


「文部科学省WEB調査システム」(EduSurvey) ①



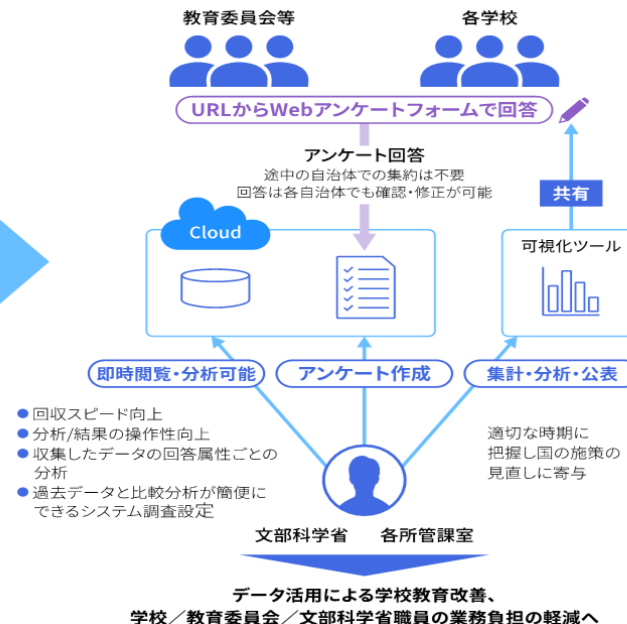
- 新型コロナウイルス感染症の対応等、各学校（小・中・高・大学等）の状況を効率的かつ迅速に把握することが求められている。
- 教育委員会や学校等を対象とした調査において、クラウド上で回答することによる調査集計の迅速化、統合作業の削減による教育委員会等の負担軽減にも資するシステムを開発。
- 学校現場や教育委員会からも調査結果の自動集約や即時的な可視化・分析や利活用のニーズが高い。
- 令和4年度においては40の調査を試行、令和5年度は約80の調査を実施予定。

導入前 例：アンケート調査フローイメージ（初等中等教育段階の場合）



導入後

ツール導入後のアンケート調査フローイメージ（初等中等教育段階の場合）
Cloud上に回答を保存することで、各自治体の集約の手間を省き、文部科学省側でも回答を即時に把握できる



現在、EduSurveyを使って実施済・実施中の主な調査

- ・ R4 副教材配布冊数等調査
- ・ ウクライナから日本に避難した子供の学校への受入状況について
- ・ 新学期における公立学校臨時休業状況調査
- ・ バス送迎に当たっての安全管理に関する緊急点検



学校から提出された複数のエクセルを統合するのが大変。ミスも起きやすい...

教育委員会

都道府県から提出されたエクセルをもとに、独自に集計や分析の手間が発生。



文科省



学校の回答が直接届くので、教育委員会での統合の手間が削減。

教育委員会

学校が回答したら即時に結果の確認が可能。可視化ツールで集計や分析が簡単に！



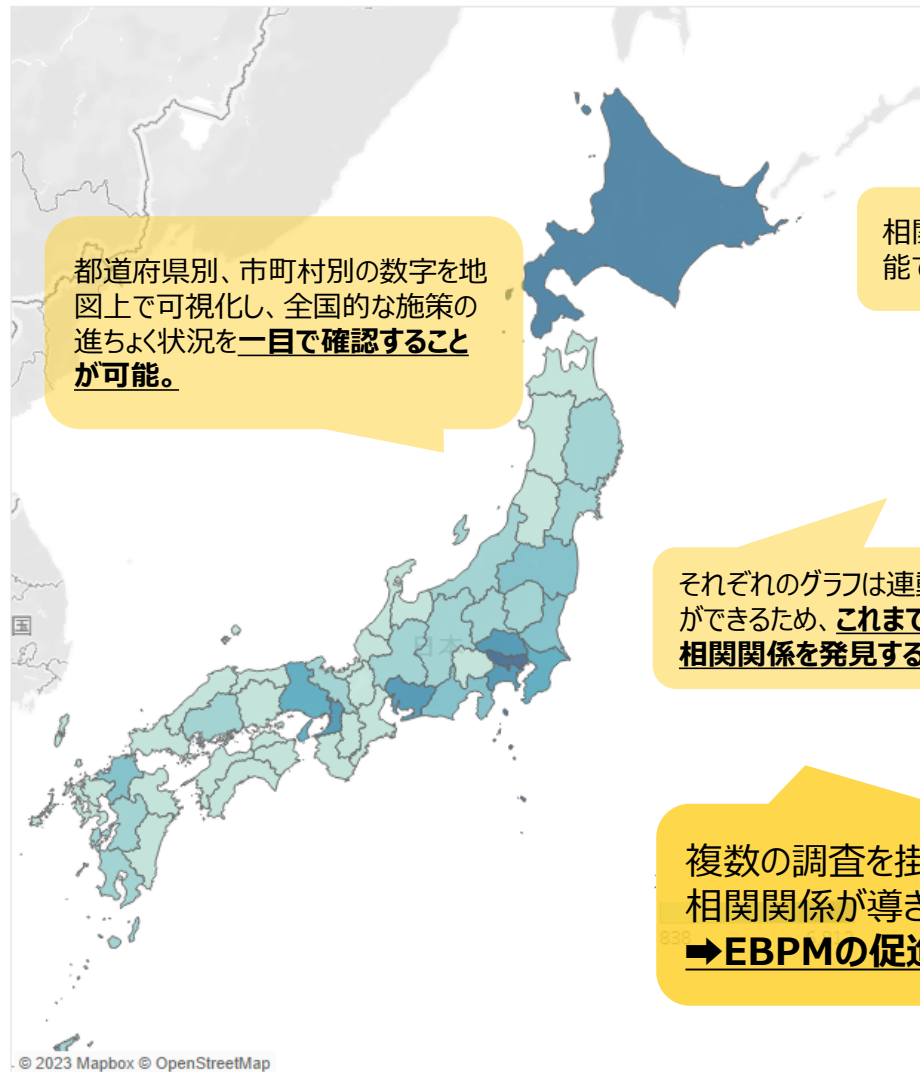
文科省

約6割が負担軽減を実感！

※一般的に新システム導入時には操作方法に不慣れなため負担増と認識されやすい傾向にある中の結果であることに留意。

回答状況を速やかにグラフ化してホームページに掲載したり、回答結果を分析したりすることなども可能となります。

EduSurveyの分析のイメージ ※あくまでもイメージであり、実際のデータとは異なります



相関関係を迅速に分析することが可能で、**分析作業を効率化**。

それぞれのグラフは連動して表示することができるため、**これまで気づかなかった相関関係を発見することが可能**。

複数の調査を掛け合わせた分析により、相関関係が導き出される。
→EBPMの促進に寄与

